

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 344番
- *交読文 50番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 107番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 339番
- メッセージ 圧倒的で繊細な主のご性質(ヨハネ21:1-14)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 350番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎 現在、韓国語週報が作成できない状態にあります。
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「私は信じた。それゆえに語った。」と書いてある通り、それと同じ信仰の霊を持っている_____も、信じているゆえに語るのです。それは、主イエスをよみがえらせた方が、_____をもイエスとともによみがえらせ、_____といっしょに御前に立たせてくださることを知っているからです。全てのことは_____のためであり、それは、恵みがますます多くの人々に及んで感謝が満ちあふれ、神の栄光が現われるようになるためです。ですから、_____は勇気を失いません。たとい_____の外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、_____のうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。_____は、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。(2コリント4:13-18)

復活のイエス様から「聖霊を受けなさい」と息を吹きかけられ、主の権威が与えられ、「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」と言われていた弟子たちだったが、彼らがそのうちやり始めたのは、イエス様と出会う前にしていた世の仕事、「漁」であった。復活後のイエス様の現れは、弟子たちと寝食を共に過ごした三年半のような現れ方ではなく、しばらく姿を現さなかったり、突然現れたり、突然見えなくなったりと、常人ならぬ現れ方だった。イエス様から「わたしもあなたがたを遣わす」と言われていたものの、その後何をして良いのか分からず、するべき事も見えず、間がもたなくて、以前していた「漁」をしに戻ったのかもしれない。皆さんも、イエス様があなたも遠くにいるように感じて、世の手段に戻ってしまう事は無いだろうか。

彼らは漁に出たが、その初日、夜通し働いたのに、何も獲れなかった。春から初夏にかけての夜が肌寒い時期、水に濡れつつ、一晚中網を打っても一匹も取れない状況である。イエス様はこれからどう関わって下さるのか、分からないため、以前の職業だった漁師に久しぶりに戻ったというのに、魚は一匹も取れない。この夜の寒さと、疲れと、落胆と、心細さは、いか程だっただろう。そんな夜が明け染めた時、岸辺に人影が見え、彼はこう言った。「子たちよ、何か食べるものがあるか」この「何か食べるもの(プロスファギオン)」とは、パンに添えて食べるおかずのようなもので、この声の主は、パンだけ食べるには口が寂しいのだろう、それはあるか?と声をかけ、弟子達は「ありません」と答えた。声の主は、「舟の右の方に網をおろして見なさい。」と言ったが、もし弟子たちが頑なな心だったら、「俺たちの苦勞を知らないで素人が何を!」と怒ったであろう。しかし、弟子たちは、この誰とも知れぬ人の言葉の通り、舟の右の方に網をおろした所、網もやぶれんばかりの多くの魚がかかった。ヨハネは、自分の「働き人」としての原点を思い出し、その声の主は「主イエス」だと気付いた。

彼らが漁に出たのは、単にパンに添えるおかずを手に入れたかっただけだったのかもしれないし、あるいは、本格的に世の仕事に戻ろうとしていたのかもしれない。それは分からないが、いずれであっても、彼らが御声に従って引き揚げたのは、153匹の大きな魚という圧倒的な結果であり、それでも網は破けず、船も沈まなかった。人はパンだけで生きるのではなく、主の御口から語られる一つ一つの言葉による、とあるが、私達は、主の御口から出てくる「言葉」に従ってこそ、地の産物を得、魚の収穫を得、世の仕事の成功を得るのである。私たちが世に出て働く時、いかに何年も働いてきた職であったとしても、一晚中働いて頑張っても、何も取れない事がある。それは、人のプロフェッショナルリティや寝ずの働きではどうにもならない。その時は初心に戻り、主の御言葉に聞き従い、怒らず恐れず、ただその通り行えば、物事は成るのである。

弟子たちのミニストリーの原点は、彼らがイエス様と出会う前の漁師をしていた時、イエス様のお言葉通りに実行したら、それまでの自分の経験や努力をあざ笑うかのような大漁を得た事と、「あなたがたを人間を獲る漁師にしてあげよう」というイエス様の言葉であった。イエス様は、彼らに原点を思い起こさせ、主のご性質を思い起こさせて下さっただけでなく、必要な糧も同時に与えて下さったが、私たちにも、同じように現れて下さるのである。イエス様は、確かに生きて働いておられる。目で見えなくても、手で触れなくても、たしかに私たちと共におられ、食べるものがない状況と奮闘している様を見て、そっと傍に立り、為すべき事を指示して下さい。主のご性質は、人の経験や努力を遥かに越えた力を、一見それとは分からぬほど繊細に、静かに示され、人間の力で寒い中、夜通し努力奮闘しても、何も取れなかった私達を、大漁で溢れさせ、しかも、陸地で暖かい炭火をおこし、石の上でパンと魚を焼いて、こおぼしく温かい食事をもって、迎えて下さる。しかも、「今とった魚を何匹か持って来なさい」と、主のアドバイスに従って獲る事が出来た魚を用い、焼かれる。主のこの一連の振る舞い、その優雅なご性質は、どんなに心がほぐれる事だろう! このように、温かいおもてなしによって、心を開かせ、生活の必要を圧倒的に満たし、その上で、福音の仕事への整えを、物質的にも、霊的にも、豊かに整えて下さるのが、私達の主である。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

- 1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
- 食事/フェローシップ 12:00～
- 2部礼拝 14:00
- 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

- 月～金 早天祈祷会 5:00～
- 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
- 火・木 夜の祈祷会 21:00～

水曜集会

- 1部 13:00～
- 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ!



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト